

「備中の漢学」を考えるシンポジウム

明治三大文宗
三島中洲



日本資本主義の父

興譲館初代館長
阪谷朗廬



渋沢栄一

写真提供：二松学舎大学図書館(三島中洲)／渋沢史料館(阪谷朗廬、渋沢栄一)

幕末から明治にかけて、備中(現在の岡山県西部)には、著名な漢学者が輩出し自らが活躍するとともに多方面の指導者に大きな影響を及ぼしました。二つのシンポジウムでは、備中出身の三島中洲、阪谷朗廬と近代日本社会の形成に大きな足跡を残した渋沢栄一との関係に焦点を当て、近世から近代への激動期における東アジアの中の日本という視点から備中の漢学の果たした役割を浮き彫りにし、その現代的意味を考えます。

備中倉敷学

10周年記念シンポジウム(聴講自由)

日付：平成27年**9月10日**(木)

時間：午後6時～8時30分

会場：倉敷公民館(なるべく公共交通機関をご利用ください)
倉敷市本町2-21 電話：086-423-2135

演題：備中倉敷の漢学－三島中洲と渋沢栄一－

パネリスト：

町 泉寿郎(二松学舎大学)－三島中洲、渋沢栄一、二松学舎の関係

濱野 靖一郎(法政大学)－渋沢栄一と漢学

于 臣(横浜国立大学)－中国から見た備中倉敷の漢学

丁 世紘(関西大学大学院)－朝鮮から見た備中倉敷の漢学

コメンテーター：見城 悌治(千葉大学)

司会：桐原 健真(金城学院大学)

主催：公益財団法人渋沢栄一記念財団

共催：二松学舎大学、備中倉敷学、倉敷公民館

協賛：「中島学区郷土を学ぶ会」、有隣会

お問合せ：備中倉敷学事務局 電話：090-8999-1624(山本)

興譲館

シンポジウム(聴講自由)

日付：平成27年**9月11日**(金)

時間：午後1時30分～4時30分

会場：興譲館高等学校 校友ホール
井原市西江原町2257-1 電話：0866-62-0124

演題：備中の漢学－阪谷朗廬、三島中洲、渋沢栄一－

パネリスト：

桐原 健真(金城学院大学)－阪谷朗廬と備中の漢学、渋沢との関係

町 泉寿郎(二松学舎大学)－三島中洲、渋沢栄一、二松学舎の関係

見城 悌治(千葉大学)－渋沢栄一と漢学、道德経済合一説

于 臣(横浜国立大学)－中国から見た備中の漢学

丁 世紘(関西大学大学院)－朝鮮から見た備中の漢学

司会：木村 昌人(公益財団法人渋沢栄一記念財団)

主催：公益財団法人渋沢栄一記念財団

共催：興譲館高等学校、二松学舎大学、備中倉敷学

お問合せ：興譲館高等学校 電話：0866-62-0124